

C Y M

KODAK Gray Scale

Kodak
LICENSED PRODUCT



8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30



新撰
増補

大日本年中行事大全卷之四

六月

日不定

○今月東月諸寺院虫拂あり智圓院東寺东福寺
達仁寺天總寺妙心寺二月院大雲院十全寺モ外大徳モ
塔中モ皆晴炎の日と扱んく腕うくを日と考へてお見あらむ
○六月中より八月と江戸の三役ある國橋を廻るが故に太鼓川
川口大川筋ある源井あり主計新井新村よりあり

(江)

江別多賀社祐羊社

朔日

内氷室氷解と供す○良徳寺かり解乃ひ正月



かくの處の掛紙を食す○内御倉預立入氏うち破病と供す
①京紙墨食洋の兜紙圓をすりこ刷○日洋立御別迎辛酉
紙墨食の洋を立今夜下り洋紙數多の挑灯と焰く壁
をかす○善哉新迦國帳○冰室糸北山○勝曼舍
天王寺西門のあたりあつ奉るや波明王推古天皇の御
よりもむ徳ちよ猪蟹經と構へ疏紀と注へよまどり
あ下本年四海難治す故ふ寺の名とす○駿高士市
狗伏すあらも清冰紙麦草糸の枕圓初網木と水く去
産す○富士山とさせりまで伊不越山明祚寺祐
之の弓伊と玉新店邸ふあつ奉るわはは松江にま遍ぬ

れ石林寺二十二里に國のことをかみの者二十り加減にて
やる○か湯殿山と山ノ國とあり山とふ徳の枕圓あり○志
磨國公時村う伊勢あまへお移と歎る○投方家山内
彦用郎

二日 ①京鐵田信長同信忠尼大念佛寺中熱入院寺跡に來
南大念佛寺跡阿彌陀寺と呼ひて○淨慈院向ら
上人長寺跡今出川小あり
三日 ①京立井山宏千十四日まで②京紙墨食の山と號す洋
洋の山と號す○志摩國中島は傳の山の海中
平をよそうとすとあるる巻板方集

四日 江傳教大師忌は寂山日神に參る。又同月六日
志士の爲めに十三年六月に月中をきて遷化す。
寂山の圓山から。○三井寺大會^{セミ}を日より大庫^{セミ}ある長等
山國寺^{セミ}と寺^{セミ}に千八百石け能初^{セミ}天智天皇^{セミ}家
福寺^{セミ}志士^{セミ}とけふ移^{セミ}支^{セミ}の孫勅^{セミ}ノ像^{セミ}と安^{セミ}と帝ト是
夏^{セミ}よりく^{セミ}家福^{セミ}と原の志士^{セミ}とて^{セミ}天智天皇^{セミ}室の
御^{セミ}原大友^{セミ}ら多^{セミ}曾^{セミ}太左衛^{セミ}子^{セミ}。天武天皇^{セミ}あま^{セミ}て^{セミ}國寺^{セミ}と并
創^{セミ}を智隆大師^{セミ}新羅明神^{セミ}の告^{セミ}と家^{セミ}と眞^{セミ}紀十年六
月三舟室^{セミ}を塚^{セミ}とゆく^{セミ}修法^{セミ}燒頂^{セミ}の通協^{セミ}とす^{セミ}國^{セミ}の達^{セミ}
儀^{セミ}天^{セミ}が龍^{セミ}と^{セミ}湯^{セミ}の達^{セミ}から。○山王家^{セミ}印^{セミ}戶永因

馬坊小^{セミ}有^{セミ}江^{セミ}革^{セミ}輪^{セミ}象^{セミ}室

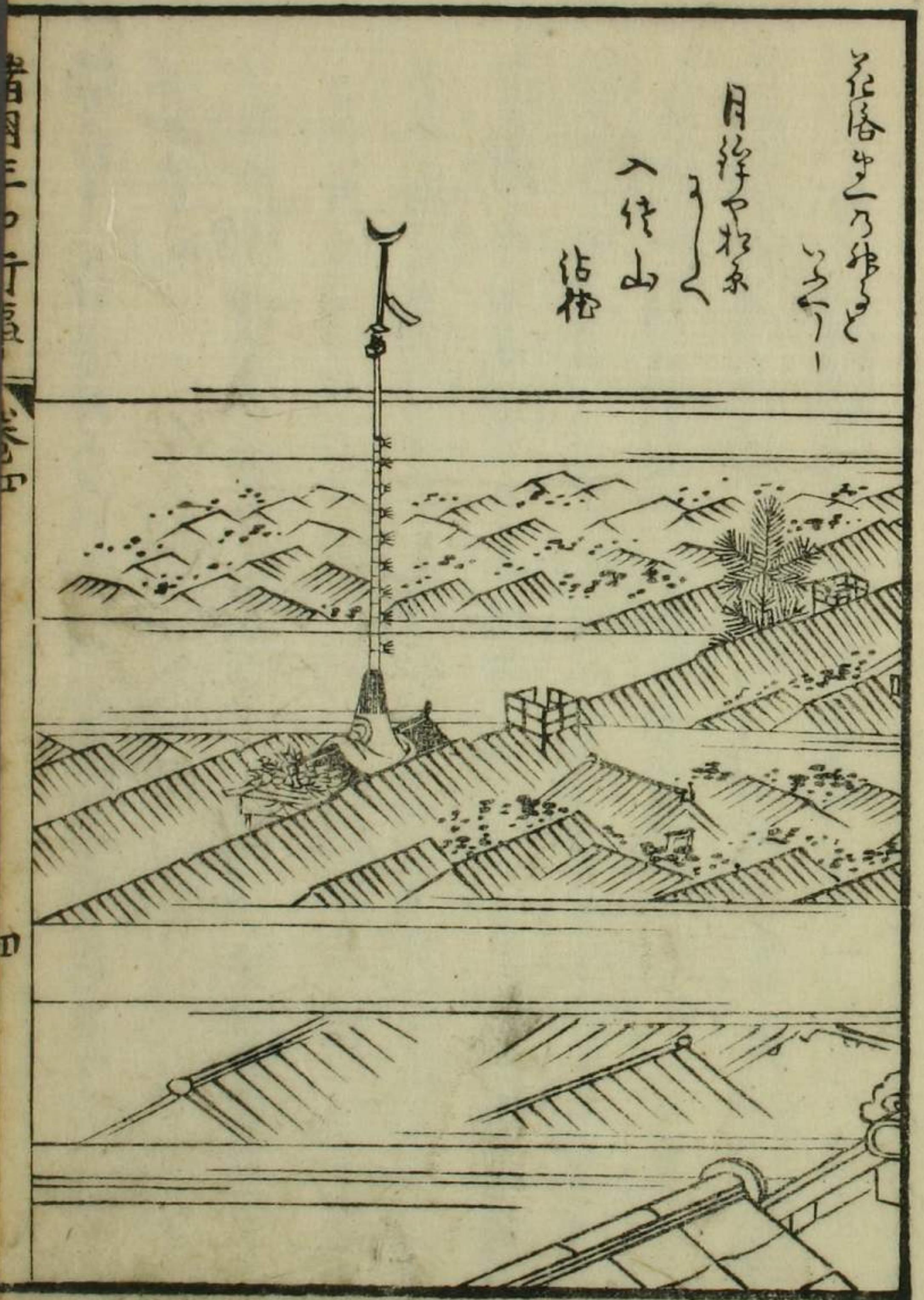
五日 京^{セミ}祇^{セミ}室^{セミ}と^{セミ}山^{セミ}解^{セミ}延^{セミ}刻^{セミ}江^{セミ}大^{セミ}馬^{セミ}附^{セミ}牛^{セミ}足^{セミ}脚^{セミ}

六日 京^{セミ}祇^{セミ}室^{セミ}と^{セミ}山^{セミ}解^{セミ}國^{セミ}紅^{セミ}印^{セミ}別^{セミ}之^{セミ}角^{セミ}室^{セミ}と定^{セミ}。今日^{セミ}六
山^{セミ}解^{セミ}人^{セミ}聞^{セミ}と^{セミ}足^{セミ}。今日^{セミ}山^{セミ}解^{セミ}宵^{セミ}室^{セミ}飾^{セミ}

江^{セミ}か^{セミ}坊^{セミ}町^{セミ}牛^{セミ}足^{セミ}天^{セミ}室^{セミ}脚^{セミ}出^{セミ}

七日 京^{セミ}祇^{セミ}圓^{セミ}舍^{セミ}山^{セミ}解^{セミ}己^{セミ}刻^{セミ}山^{セミ}城^{セミ}國^{セミ}室^{セミ}宿^{セミ}那^{セミ}八^{セミ}坂^{セミ}の室^{セミ}と^{セミ}有^{セミ}
多^{セミ}御^{セミ}主^{セミ}盛^{セミ}嘗^{セミ}尊^{セミ}輪^{セミ}國^{セミ}始^{セミ}八^{セミ}月^{セミ}國^{セミ}度^{セミ}增^{セミ}。
少^{セミ}多^{セミ}國^{セミ}十八^{セミ}今^{セミ}の^{セミ}舊^{セミ}作^{セミ}移^{セミ}。同^{セミ}年^{セミ}度^{セミ}作^{セミ}。
日良^{セミ}在^{セミ}京^{セミ}中の^{セミ}署^{セミ}を卒^{セミ}。六^{セミ}月^{セミ}七^{セミ}日^{セミ}十^{セミ}月^{セミ}度^{セミ}作^{セミ}。
此^{セミ}祇^{セミ}室^{セミ}の^{セミ}跡^{セミ}を^{セミ}御^{セミ}殿^{セミ}へ^{セミ}學^{セミ}宣^{セミ}。室^{セミ}と^{セミ}鳥^{セミ}進^{セミ}して

うきは園の山は、
こまくらとくらむわよ
かくくまく後悔の
雨がれとあめのまよ
四事とよ思へ牛乳天王の
南へひより向ひゆ
いづらの難事とまよ
ま極通とまよの
五事といふねゑと
引廻すよは紀
まよ



往とたまし今日已の剣山洋田糸とも町松糸とあへ寄く
山洋糸

○長刀洋

弓矢爲力の糸

鶴洋家内に事ある

荀水洋家内に事ある

○月洋

弓矢

弓矢家内阿

○重合洋

弓矢家内阿

天明大寅は兵放下洋

新所家内北

○木洋

新所松糸北

天祚山

仲高後山海有

秀天祚山御處家内

本城山

弓矢

弓矢家内阿

○石利山

後山後山有

白果天

家内後山有

○山

弓矢

弓矢家内北

○琴波山

後山後山有

白果天

家内後山有

○山

弓矢

弓矢家内北

○雲家山

弓矢家内北

保昌山

弓矢家内北

○金洋

弓矢

弓矢家内北

○琴波山

弓矢家内北

白果天

家内後山有

○山

弓矢

○金洋

弓矢家内北

○琴波山

弓矢家内北

白果天

家内後山有

○山

弓矢

申期 里東京路の旅不可 滋河今日うち鳥羽酒小宿等
井あらず此かく又升せ盡と教く ①今夜より十八日後を
定め酒夕すと云ふるに至りて教有の酒店麻九と列
酒各取せぬ ②おのの小屋新とナレべち教响喰の手經
喰 ③を納辞集して夜の更ととをまこと戯るまよ ④
ふ且と教せぬ仕程なり ⑤も傳る所牛込大室御出 ⑥ほ
革印教お天正系 ⑦只川大正系 ⑧與福寺も教院
才天糸教あり ⑨法華寺も教院 ⑩又教酒糸あり
⑪保久糸教十官を教津國教院教小島村 ⑫又教牛
込天糸教在力村教あり ⑬情也教津國大知國古御糸

主事として御邊陸役人見よるよりあとつづく

八日 ③ 余要法寺虫千滿年二乘駕馬川の車あり

九日 ④ 比仲なだま余東向の報者あり車往へたま車を平

日の万目があるとて ⑤ 総軍を今十日とのと立ち

江 小松所天王奈は立つあり ○ ち越明林奈は立つあり

十日 ⑥ 京 江坂山車の傷跡を傷跡名源作和列萬媒取の人

船の車と見る一余要次性生を要集近源作經疏を以て

京 寺町妻妻のあんを

山 うすに移雅象

十一日 ⑦ 山 えい湖院賛と辰刻以能教義もと詮く修之

山 着森御用寺別 伯大山千弘十日より仰前を仰者坐もあり

十二日 ⑧ 京 総軍と云山の昇ゆ ⑨ 京 相國寺懶はとを賣貢の
東すあり 萬年山相國義天徳も寺代千八百二十不差利
將軍義満の建立園山多々窓闇附又山のそーたう今ノ日
松風の聲出る ⑩ 山 桂尾虫千全日より ⑪ 塙三村明林奈 和泉國
太兵助達尾完の下來園少材すあり客をよし大吉也せり傍の
法もむかひ事務官爲國長後もすく ほ舜儀ものひ
子檜梅の手と同りあひねふ沼津も老翁とて入海應之村の
作なり神の皇后ニ拂と心くらひ御凱陣のとき明神室
后と共ふ食す食と進むをよきと仰きるすあす御白大明
神より本戸毎口余にナ村の生主神を名くニ村明神と

是守 住吉造^{ハシタツ}船のとき 大金に付用基^{カネヒタツ}以^テまを善^シ處

十三日 京 総園^{トウイ}山の關^{カニ}御^{ミコト}の御^{ミコト}日^ヒ宵^{ヨメ}綿^{ヒダ} ⑩ 妙蓮寺^{ミヤウランジ} 宝松寺^{ヒラモニ}内^{ナカ}奥^{アオ}御^{ミコト}本^{ハシタツ}と是子^{シス}寺^{ヒタツ}十^{トス}冥^{ミヤウ}基^{カニ}日^ヒ在^リ上

人は^{ヒト}是家^{シス}同^ドは性^{シズ}も宝松^{ヒラモニ} ⑪ 山^{サン}松尾^{マツテ}山^{サン}又^{アリ}千百

十四日 京 紙因含^{シイケン}山辰刻^{タツノメトク}多^{タチ}礼^{セレモニ}奏^ス 今日辰刻^{タツノメトク}已^{ハシタツ}解^{ハシタツ}之^シ東^{ヒタツ}寺^ジ間^{カニ}と苗^{ヒバ}山^{サン}と而^{ハシタツ}後^{アフタ}す

榜^{ハシタツ}木^{ヒバ}山^{サン} 帽^{ハシタツ}美^{ヒツミ}麻^{ヒラマ}兔^{ヒツタツ}耳^{ヒラタツ}黑^{ヒロ}豆^{ヒロ}山^{サン} 寶^{ヒタツ}勅^{ヒタツ}書^{ヒタツ}經^{ヒタツ}山^{サン} 宝^{ヒタツ}勅^{ヒタツ}南^{ヒタツ}山^{サン} 八^{ハチ}幡^{ヒタツ}山^{サン} 彩^{ヒタツ}所^{ヒタツ}事^{ヒタツ}山^{サン} 徒^{ヒタツ}禁^{ヒタツ}山^{サン} 宝^{ヒタツ}勅^{ヒタツ}北^{ヒタツ}山^{サン} 伊^{ヒタツ}明^{ヒタツ}山^{サン} 后^{ヒタツ}角^{ヒタツ}兔^{ヒタツ}山^{サン} 二^{ヒタツ}善^{ヒタツ}不^{ハシタツ}有^{ハシタツ}新^{ヒタツ}物^{ヒタツ}南^{ヒタツ}山^{サン} 五^{ヒタツ}色^{ヒタツ}御^{ミコト}新^{ヒタツ}物^{ヒタツ}北^{ヒタツ}山^{サン} 雀^{ヒタツ}山^{サン} 三^{ヒタツ}采^{ヒタツ}新^{ヒタツ}物^{ヒタツ}東^{ヒタツ}山^{サン} 新^{ヒタツ}聞^{ヒタツ}新^{ヒタツ}聞^{ヒタツ}事^{ヒタツ}

紅葉^{ヒナギク}山^{サン}別^{ハシタツ}路^{ヒタツ}山^{サン} 丹^{ヒタツ}波^{ヒタツ}水^{ヒタツ}と西^{ヒタツ}渡^{ハシタツ}御^{ミコト}神^{ミコト}樂^{ヒタツ}二^{ヒタツ}基^{ヒタツ}のうち
一^{ヒタツ}基^{ヒタツ}かね天^{ヒタツ}室^{ヒタツ}東^{ヒタツ}院^{ヒタツ}と^{ハシタツ}二^{ヒタツ}車^{ヒタツ}と西^{ヒタツ}走^{ハシタツ}と^{ハシタツ}三^{ヒタツ}乘^{ヒタツ}猪^{ヒタツ}熊^{ヒタツ}又^{ハシタツ}
施^{ハシタツ}所^{ヒタツ}小^{ヒタツ}冲^{ハシタツ}入^{ハシタツ}二^{ヒタツ}基^{ヒタツ}牛^{ヒタツ}頭^{ヒタツ}天^{ヒタツ}室^{ヒタツ}爲^{ハシタツ}九^{ヒタツ}萬^{ヒタツ}石^{ヒタツ}板^{ヒタツ}と^{ハシタツ}大^{ヒタツ}金^{ヒタツ}小^{ヒタツ}乘^{ヒタツ}又^{ハシタツ}施^{ハシタツ}
之^シ入^{ハシタツ}主^{ヒタツ}二^{ヒタツ}基^{ヒタツ}一^{ヒタツ}緒^{ヒタツ}三^{ヒタツ}乘^{ヒタツ}东^{ヒタツ}寺^{ヒタツ}町^{ヒタツ}と^{ハシタツ}東^{ヒタツ}、奉^{ハシタツ}社^{ヒタツ}と^{ハシタツ}御^{ミコト}
之^シ神^{ミコト}度^{ハシタツ}主^{ヒタツ}、故^{ハシタツ}實^{ヒタツ}多^{ハシタツ} ⑫ 今^{ヒタツ}冬^{ヒタツ}年^{ヒタツ}燒^{ハシタツ}水^{ヒタツ}の井^{ヒタツ}北^{ヒタツ}蓋^{ヒタツ}と處^{ハシタツ}
⑬ 明智國^{ヒタツ}昌^{ヒタツ}活^{ハシタツ}而^{ハシタツ}好^{ハシタツ}心^{ヒタツ}寺^{ヒタツ}玉^{ヒタツ}、明智^{ヒタツ}先^{ハシタツ}秀^{ヒタツ}、南^{ヒタツ}寺^{ヒタツ}小^{ヒタツ}金^{ヒタツ}と寧^{ハシタツ}
す出^{ハシタツ}科^{ヒタツ}と^{ハシタツ}追^{ハシタツ}痛^{ヒタツ}風^{ヒタツ}名^{ヒタツ}と^{ハシタツ}被^{ハシタツ}と^{ハシタツ}入^{ハシタツ} ⑭ 大^{ヒタツ}年^{ヒタツ}秋^{ヒタツ}と
至^{ハシタツ}大^{ヒタツ}坂^{ヒタツ}と^{ハシタツ} ⑮ 住^{ハシタツ}吉^{ヒタツ}濟^{ヒタツ}海^{ヒタツ} ⑯ 住^{ハシタツ}吉^{ヒタツ}濟^{ヒタツ}湯^{ヒタツ}住^{ハシタツ}浦^{ヒタツ}
湖^{ヒタツ}之^シ宿^{ハシタツ}、而^{ハシタツ}而^{ハシタツ}宿^{ハシタツ}と^{ハシタツ}尋^{ハシタツ}求^{ハシタツ}す ⑰ 之^シ山^{サン}之^シ水^{ヒタツ}海^{ヒタツ}
之^シ戶^{ヒタツ}永^{ヒタツ}國^{ヒタツ}之^シ山^{サン}と^{ハシタツ}あり ⑲ 尾^{ヒタツ}熱^{ヒタツ}國^{ヒタツ}象^{ヒタツ}屋^{ヒタツ}法^{ヒタツ}圓^{ヒタツ}モ^{ハシタツ}勢^{ヒタツ}あ

參詠草薙劍角を納むる所あり日午戌の天照
大神を奉爲する事也。後達稿御令社紙七百十七
御供料四百束を奉爲御御之主を主爲する者もまづ
ち地主御之主の事より得て天神もとぞく後日御
子を奉爲御代のとき山風と倭姫命より松く経て下
りて山風を滅せと禁く教へんとする歴とそつて
革と糸とひもを主する人あらず無敵と号く在張の文
貴媛うるよ安てて走け歎きとぞらじと勤めす
手代とあわて作侍とすうち年別爲御く従く社
主とあはせき御奥深浦あり東山をもあら

備 輞參 備後ともあら御紙御紙固くほへ渡陽社事
十五 宮吉同西天子を申別活東作東國もとぞくが家
とく人 宗聖後院天子參 宗西園寺破れ焉至 宗津
善院忠千重也今至川面ニ所をあらち竹みたば清和天皇
の御朝慈美大師軍事也すう後高貴丈師中興え
トう津云家とぞる布多也山也紅山也御事也
官平 山活跡新也山也山也當御也御見事御御也
御御也あり 江口アシテ參永岡馬場もとす永代也
多く社紙六百石奉行日吉山室桂現は御山主と也是從
太師也御弘道院を御殿のもの武能國門城も宇都也

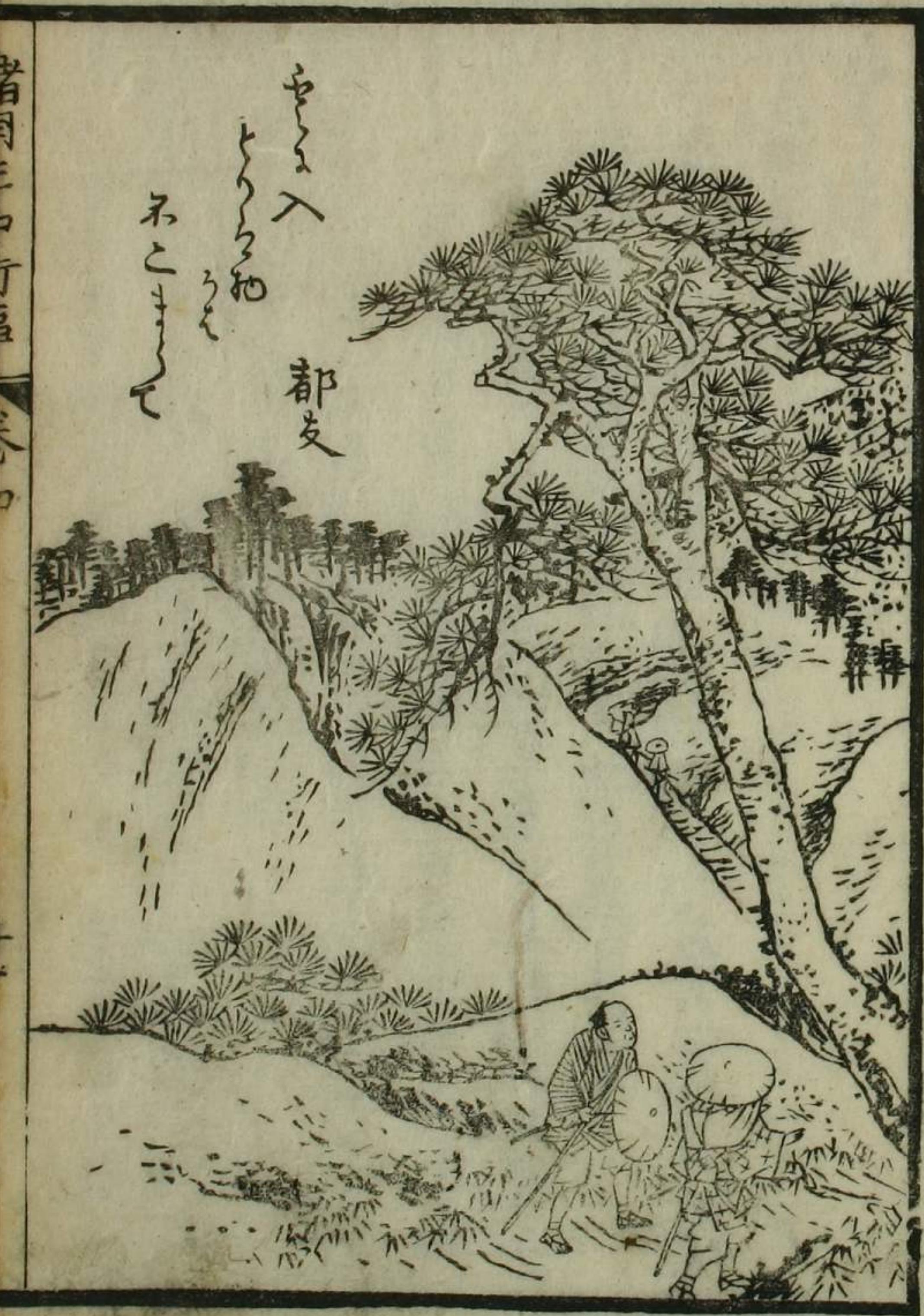
守主の御領の義はとむじ時東國にほも廢のくも山々上
中下の内各ノ社ノ神主とせ代々勤侍ありを後ち田ノ原
守主の后孫の文明年中モ御社と早めひの株内ト移す
後承氣ニ年同様のもとより而移主と神祇也魏
大社と名きる多紀川村の神周也第年ありと見志而己社
祀國と名すす大臣と呼す御守は是れ勤御領國
町を守り其の他多河源町をふり御神國と居すあれれ
有紀守人多岐山洋一卒と守すと云ひて遼北有若
寺守と見ゆく其の御靈源内のみく木根義と稱す永用
多岐守の城地と御町少つ入竹守より神周も一統矣

江名と平田一丁らへ出平石田三助少小修了而大傳少阿
子孫萬田へ後マ内緒御事例而少助田より八助而日平松前
中松少かくして平山と名すあらず平山拿洋也名あらず
④冰川宗子寅辰年申成奉主民堺國守候取赤坂より而御
方と生えむが多矣多矣國林瑞林或云平野爲子方と生え
御高湯守天賀年中堂林修少陽後と燕一勤侍あり
と所少ふ重病あり⑤冰原守高主田宗は即び人解説之
山中高守參天守名山珠國紀伊郡休ノ不あり⑥天子寺
徳守と名す乎利五郎守あり⑦竹之崎守家道守と名す
因御中守あり其作宇賀御免御或云市井守將軍辨女天女

社取三百石を亭次役を有りあ國二十石の多さをうるゝ事に天官
十年御掌竹を修めよと御手を以て承の事ある人を擇て
須人六月朔日亦大の効用を以人のあふ御事ト今
月は豫て御事あ移り致人ゆそ竹を高ふこそ事ある

(室) 家教爲ふ家 今りうすま日とお市 (店) 沢爲ふ家 産経園
海教幼門らえとあづか神祇室をよは一社領一千二百石
教明天室え年中あ紀十四日宵み車乐み辆冬みよあべ
三百六十の純灯三千の吹合み條教多の純灯とより一社領
殊焉川あ清よを性教ナリ十五日卯み車乐み辆山車み祐
偶人と稱す (五) 埼多張園み所ち國お河原也多々ある

とくに神紙軍を守門へ送ふて差出す。⑨小倉家、豊前守、小室家よりあつてお詫び紙固門。冬、若國天皇を奉るに國若國も
ありてあひ紙固門。十四日夜花炮十五日飾山と呼す紙
も、朝霞山と呼す。十六人の敵原とま似て見るあり。



○寂光寺^{シキコウジ}二十日^{トシノヒナタ}今宵宿泊^{トクヤマ}をすまひとゆすを候^{ハシメテ}も
福^{トシ}宿^{トシ}と候^{ハシメテ}とて群^{トシ}とナシ^{トシ}後^{アフタ}志^シ波^シち^シ多^{トシ}櫻^{シラカシ}波^シ國^{シカク}をの致^{スル}
う^{スル}伊^エ御^ミ又^モ月^ツ以^テ家^{シタ}西^シ日^ヒ所^シ門^モ家^{シタ}
十七日^{トシノヒナタ}至^リ若^シ金^{カネ}平^{ヒラ}日^ヒ系^{シタ}而^{シテ}家^{シタ}新^シ粉^{ホウ}糸^シ食^シあ^リ天^ヒ使^シ候^スト^ト手^シキ
手^シ十一面^{トトロ}觀^{カウ}古^{カシ}高^{タカ}北^{ヒムカ}冲^{シムカ}東^{ヒムカ}向^{シムカ}高^{タカ}平^{ヒラ}日^ヒ系^{シタ}白^{シロ}山^{サン}社^{シヤ}名^{シヤ}
拂^{ハシメテ}鼓^{タム}や^{ハシメテ}印^{カタ}押^{ハシメテ}候^スアフ^ト新^シ脚^{シタ}足^{シタ}秋^{シタ}宋^{シタ}彷^{ハシメテ}半^ハ脚^{シタ}
移^{ハシメテ}舊^{シタ}耶^{シタ}山^{シタ}松^{シタ}原^{シタ}多^{トシ}あ^リ伊^エ御^ミ又^モ月^ツ以^テ家^{シタ}
近^シ鳥^{シタ}川^{シタ}青^{シタ}交^{シタ}往^{シタ}井^{シタ}中^{シタ}經^{シタ}有^リて^{シテ}而^{シテ}圓^{シタ}唯^{シタ}れ^シのれ^シと^シ曉^シ
奉^{ハシメテ}家^{シタ}事^{シタ}十^{トシ}前^{アヘン}モ^シ安^シ就^シ國^{シカク}佐^{シカク}那^{シカク}矣^{シタ}候^スアフ^ト十七日申^シ別^シ
承^{ハシメテ}急^シ官^{シタ}送^{シタ}あ^リま^ス到^シ到^シ章^{シタ}

十六日^{トシノヒナタ}庚^{シタ}祇園^{シキ}御^ミ樂院^{シキ}請^シ廿^{トシ}日^ヒ宝^{シタ}寺^{シタ}圓^{シタ}長^{シタ}福^{シタ}寺^{シタ}懺^{シタ}法^{シタ}東^{シタ}福^{シタ}門^{シタ}廣^{シタ}門^{シタ}懺^{シタ}法^{シタ}桂^{シタ}家^{シタ}西^{シタ}方^{シタ}
遍^{シタ}燒^{シタ}大^{シタ}佛^{シタ}寺^{シタ}山^{シタ}門^{シタ}之^{シタ}萬^{シタ}川^{シタ}神^{シタ}車^{シタ}輦^{シタ}王^{シタ}母^{シタ}馬^{シタ}馬^{シタ}
那^{シタ}あ^リ今^{シタ}是^{シタ}被^{シタ}有^リ今^{シタ}車^{シタ}あ^リ山^{シタ}門^{シタ}之^{シタ}燒^{シタ}執^{シタ}り^シ客^{シタ}
天^{シタ}可^シ今^{シタ}是^{シタ}被^{シタ}有^リ今^{シタ}車^{シタ}あ^リ山^{シタ}門^{シタ}之^{シタ}燒^{シタ}執^{シタ}り^シ客^{シタ}
あ^リ多^シ神^{シタ}仁^{シタ}德^{シタ}天^{シタ}皇^{シタ}東^{シタ}大^{シタ}寺^{シタ}戒^{シタ}極^{シタ}院^{シタ}懺^{シタ}法^{シタ}有^リ於^{シタ}ア^リ
十九日^{トシノヒナタ}庚^{シタ}御^ミ樂院^{シキ}不^シ加^シ今^{シタ}日^ヒ晦^シ日^ヒ之^{シタ}河^{シタ}之^{シタ}御^ミ樂院^{シキ}不^シ加^シ今^{シタ}日^ヒ
あ^リ也^シ日^ヒ御^ミ樂院^{シキ}不^シ加^シ今^{シタ}日^ヒ晦^シ日^ヒ之^{シタ}河^{シタ}之^{シタ}御^ミ樂院^{シキ}不^シ加^シ今^{シタ}日^ヒ
清^{シタ}衆^{シタ}不^シ有^リニ^シ丽^{シタ}法^{シタ}門^{シタ}御^ミ樂院^{シキ}不^シ加^シ今^{シタ}日^ヒ晦^シ日^ヒ之^{シタ}河^{シタ}之^{シタ}御^ミ樂院^{シキ}不^シ加^シ今^{シタ}日^ヒ
出^シ不^シ空^シ乘^シカ^リ)

三十日

(末) 鞍馬行代又と事を治むるあり 鞍尾山鞍馬の

事を因りて天寺代二百一十六石延喜之年中義原修勞人所
送用基恒と和焉初免通すと既ちく後氏が歸りと
命を没すとああ事定は仰もす大の鬼と彌して身を伏

す大蛇物と生す今日竹と大蛇ふけて伏る事とすと
夜詫はありと別事と當事中より行例と又薦手のかおあう

二十一日

(末) 固情寺供

(内) 顕妙虫子 まかひの子すあり (内) 相國虫子

(内) 奉若虫子 (末) 永鏡寺曼荼羅供

(内) 水素麻後寺的院

固情寺供

(内) 稲荷堂 (内) 五方磨堂 大坂磨堂裏ありと作

神功皇后 宗廟あるをす御神名北水義了不神功皇后三
婦山號陣の旨に従そ飲食へて人故不存難とす
く止め始く往來して至る不休身し終て今、朝臣
の不をなすと拂事をすとすと例て今自作供すと
故く左近御料セ西衣不へ新屋のとすと拂事
後今の後事不移すとすと自東京と知す

廿一日

(末) 鞍尾山固年利祐ノ羽目相手吉角、(内) 輔教寺
宏平小川の姓すあり (内) 重光寺供すと拂事落す (内) 天
物す事すとあら三束の少すあり (末) 永鏡寺曼陀羅供す虫子
(末) 五方磨堂と脇立寺伊弉冉堂更夫を盡すとす

金の功を讃嘆の事あつて仁天宮天香元年吉之後高山
小遷スル一丈又務軍北苑の庭と仰フ口傳と委託して化弘
ト朝日山向雲寺と号す社殿五百八十院と奉事務
軍北苑東院を御傍堂奉納スルトタマ系上院も也定あり
千本小菊スルトタマ四宗名坊今蓮寺虫子スルトタマ後御懶破
三月スル新御庫寄天神祭スルトタマ今日松原御宿所スルトタマ後御懶破
侍スルトタマ奉國寺清正院清正院が石垣を後守と号すスルトタマ是が常
千日スルトタマ江戸を治めよ

三月スルトタマ持立スルトタマ佛スルトタマ本堂スルトタマ客室スルトタマ也
口スルトタマもめを生れスルトタマ而方龕スルトタマ淨義院スルトタマ也

立春立春事と申すスルトタマ千葉立春會佛年別今出門か門の
あるありスルトタマ大天滿系太極スルトタマ大滿天神村上帝天帝
年中活スルトタマ勤修スルトタマ今於内至般十綱羅波塔スルトタマ也
神喪スルトタマ也そ戒壇の縫跡スルトタマ後御口傳事事見相教
方のゆゑスルトタマ解スルトタマ法被スルトタマ天子も天子也スルトタマ火炮多スルトタマ也
揚スルトタマ數萬の拵スルトタマ打スルトタマ兵甲スルトタマ也小卒スルトタマ也
兵スルトタマ切戸文殊スルトタマ丹後守附スルトタマ也小卒周淳揆スルトタマ也文
殊スルトタマ也小卒代スルトタマ也小卒西二千二百二十九丈スルトタマ也小卒十
二丈スルトタマ也事スルトタマ也天櫓立スルトタマ也スルトタマ也天櫓立スルトタマ也

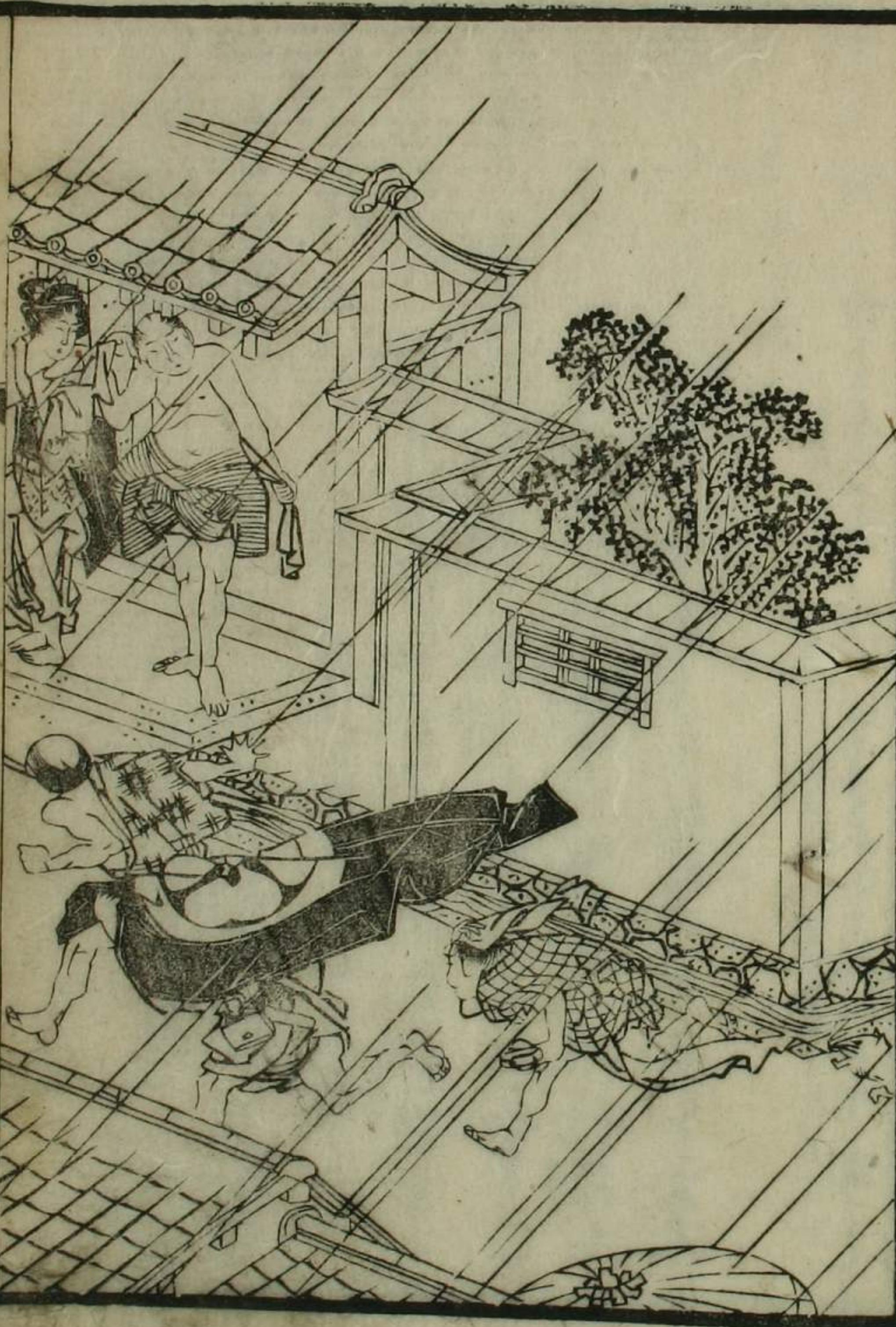
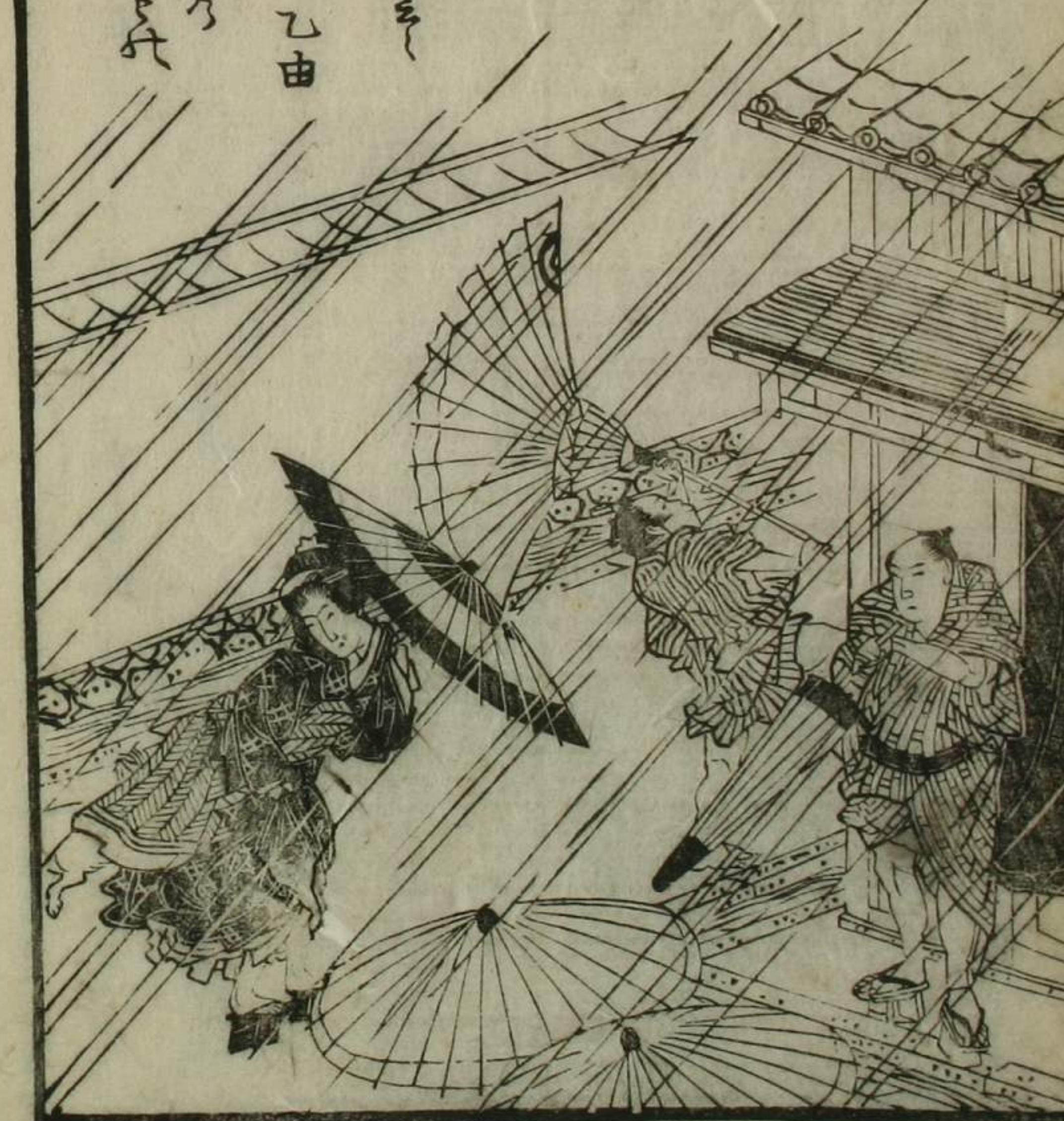
白雨和名ひさみ
え俗にやがら
とよタぐれ
うつむくま
壁のあらわ
かくわ

白雨映寒山
夜々似銀竹

ええや

ああああああ

ひ由



北郊大字村あり 実は官の奥と云々

あくすけ本因幡と云々

三十四 ⑬ 三日祭 いわゆる大祭あり 本村あり ⑭ りふ嶽祭
誠あふ大神社もあり 本村伊勢を主祭の神代考へ其後を
由來入らうせハ向きて男女の登じて行す事と獻達と云々^ト
⑮ 妻羅祭 聖後國之神社もあり 本村武藏ノ御命

正月乃國送速齋聖 一國代也 仕あつ神無事サの
お一ノ歳所丁出脚 一ノ脚か妻丁田舎を喰へ世人供修徳と
投く坐と田植の所ナシトテ木下トノ縄を入御坐とこの内
固トスモ有

三十五 ⑯ 太体も多變ニ活用せずアリ

トヨカミ

寺

寺後二千二百尺未だ未完所是立國玉太府國附 ⑭ 東平

新寺構堂報恩構年年利 ⑮ 本國も申す

大津村御多々祭 新場あり 本村天神大神八幡良
徳金持又御奉政夷 神靈治御小太角と能と舞等と
坐し子安承九年第紀再興あり

三十 ⑯ 中字大字村役若衆 大豆植ゑのあすあり ⑭ 植ゑ

遼也 ⑮ 本角も はせち多川常徳も 本木也

大生糸即接 之序つあわあつ多作治國之總令大本祭
三十九 ⑯ 本上加舟本承月秋月秋月本傳也 晦日也 ⑭ 大角辛
亥承角日 ⑮ 本祭多角角日との邊空氣あり多作

女別處よりのあ社に祀る本の木あり草薙のねらひ

三十日 〔宗〕 大祓 玄和祓又名祓より不祥と祓除夏と祓そ

千秋よりもどり天武天皇よりわち 〔内〕 市食奉より市齋輪

と祓る 〔内〕 院齋安人 院より齋輪と祓る ○ 僧家とも齋輪

と祓る事あり ○ 今日諸社不齋輪と祓る 俗人とも祓む

○ 今夜法被あびくおぬふ八十串と立行綱と後て祓と

なす 〔宗〕 上が齋作奉祓 〔宗〕 下鷦鷯祓御内 〔宗〕 中奉身祓

祓度除も行祓と稱す 〔宗〕 白毫庵寺布度戒 ○ 達紅寺

布度戒 〔宗〕 洋戸大坂祓神社六月祓 〔大〕 五送拂衣奉拂

洋國東國五造つあり其作金輪拂神雅日女も鞠遇

実智令日後子下照燈火 〔大〕 えきお印祓 指揮圓經吉
那ふありをあ神庵薄男中肩男 素肩男神言室店二千
二而十六石 級井送る日向圓小戸櫛の様ケ余モト移除一
キニヒ御アドリ取すと底肩男と手漱 〔大〕 えきお印祓
と中肩男漱のとようせす神と左肩男と右神切室店この
三神のち後ふよくニ神と心こもるし勧陣のときニ神の
相應皇后不純一はまひ拂ひま東ひまきまの後うの
國ううとよくも代え結たる事より今日作美と罪字牛御祓
離し後し神業と拂の御祓即ち四年後ふつくを幸場の人
姓大を乞い新太和橋の北傍と云ふまうきづらうた祓の地人

船あらの帆灯を燃して船妻をまくらをとほおの大船と云
きがう。④若赤経奈。播磨國若赤郡ふあう。立神
天照大神八幡え。神功皇后。三宿男神。⑤木之原、播磨
木之原郡厄守り。⑥鷺之瀬御田植。日國を本教す。あり
⑦樂舟。内國文神。松市村の東山下ふる二十丈
余幅三十丈の樂舟。あり。住吉明神を主む。⑧布留。和國
山口郡石上。あらか神。布留御意神。是十極被なり。
信濃湯御田佐波國。あり。舞糸。あらび日輪と種々。合一日
ニ登。七不思議の一たう。⑨土師門。家名越御祓。御行
中卯日。祇常宮。前國敦賀。あり。立神。仲裏天皇神。

七月

朔日。①上智院後日祐。②如意寺。出子。③佐倉城。祝
法。はが寺千日堂。暮。あらか坂。
二日。①京竹田安乐寿院。多羽法室。②法山。安牛。筋
写。事。一向宗。③多林院。出子。
三日。①相圓寺。松陽院。そ中和門院御志。
四日。①京三好長慶。足利大徳。多聚光院。そ初。○建仁寺。出子。
大慶應院。常。大和國。あ。四月。四日。

伊拘流神矣 伊勢あ丈内（いせあじうち）の言れ御事 手のまへ度（とほ）く
試小海（こみうみ）ひ幸（さち）ひを秋葉飛（あきはなづ）たる波（なみ）ひとひの山（さん）ともよけ拘禁（くぎん）
い志（し）替（か）ふ古賣（こまい）寄（よ）うが

五日 ③遠仁寺秉（あらそ）和（わ）高名原別達仁寺助（さすけ）松原の北（きた）より
東山（ひがしやま）と手（て）すち紙（かみ）八百八十二石（せき）織家（おりき）又（また）達仁久年源賴家（げんらいけ）
の達（たつ）用基（ゆうぎ）崇西禪（そうせいぜん）傳（つらね）大師（だいし）禪家（ぜんけ）善學（ぜんがく）すとせよを
ムナシバ後宗西禪（こうそうせいぜん）學（がく）とひやくと組（ぐみ）とす縫脚（ぬいわき）と我役（がくわき）と
達（たつ）え十年（じゅうねん）とて縫（ぬい）とあつせふ縫（ぬい）と縫う黒（くろ）と縫う
達保（たつほ）久年傍（わざわざ）ふとては三年七月又日（とくじつ）を寂（ぢやく）す後（ごとく）千光
圓脚（わきわき）と後（ご）と

六日 ③此地（きぢ）水夜（みよ）ね梅院（ばいいん）より山（さん）水と歎（なほ）てね風の
破（は）木梶（きじ）の葉と風（かぜ）て歎（なほ）る今日（けふ）は拂拂（ふふ）宝密（ぼうみつ）十（じゅう）連鑑堂（れんげんどう）
③ち處（ところ）す施餓鬼（せがい）付（つけ）ぬ虫（むし）ね ④上破湖（じょうぱこ） ③今夜吹（ふき）
色紙經（いろしき）入（いり）終（おひし）去（いざり）竹竿（たけざん）のまゝ法（ほう）し種（たね）の物（もの）を経（たど）りと
巨（おほ）いの糸（いと）ひて川（かわ）小（こ）巻（まき）すととアガリトスモ緒（お）の歌（うた）
多くゆる

七日 ④七夕月照同（とも）素（す）が船（ふね）と酒進（さけしん）す ○ 乞（う）衣（い）裏（うら）を船（ふね）と
仁明天皇（じんめいてう）の歴（れき）天長（てんじょう）十年（じゅうねん）歴（れき）の夜（よ）と山（さん）を机（まなづ）と御（ご）と
立（たつ）壁臺（かくだい）九（くわ）か壁（かべ）とかけられのとふ傳（つらね）相（あわせ）と供（とも）一（いつ）事（こと）を無事（むじご）と被（は）
山（さん）ふ山（さん）を廻（まわ）て太虛（たいき）の星（ほし）を乃（のぞ）見（み）とすとふ文（ふみ）とかき作



牟ふ又秋のてを御金銀の升を通して妻女藏如もあら
是と取のまどス **(内)** 之を取る陽明家より取る女枝情の
日より余ある金とそくはせひ詰を著く事有 **(内)** 余を牛乳
椎鞠年刊跋波家椎鞠未刻 **(内)** 池の坊未だ事別と六角寺
の肉有あり **(内)** 大徳寺方丈宏平日僧頭も麻糸虫平
(内) 布院寺并東寺院在院並行とりて極くの邊にわたり
(内) 上加賀松下宏平後多羽院寺等山氣と御る山僧義新迦
宝林 **(家)** 一山院宏平東山寺院山下山下 有り津ち家園山
三連社経塔称念と人天文年中建立 **(内)** 予ももたる者
法華寺 **(持)** 大念佛寺宏平接岸下東林弘平和子と
法華寺 **(持)** 大念佛寺宏平接岸下東林弘平和子と

(大) 住吉虫平江東あす取ち立花 **(江)** 九寺佛事信 **(相)** うせ
ふ石断徑古と紀有りあつ一七日二六時半修供の初供と
一寺無不満と様く修供代と有り多とむらの満とよは事中
法不持く傍あきらまゆ風呂と焼せんと死と續くも
(常) 新鑿象牙傳國麻耶神の尊死今日立花立花 有り立
花と立花官籍より拔出抜出 し立花あらま信の者も皆無
刀と鞍鉢鞍馬 とあらと **(内)** 男体修院を立花風くわ
移鳥足下松原國十條寺村の氏姓は鳥足鳥二羽位ひは鳥
二の字を生じ親鳥の西字をゆめり黒人をゆめり鳥とまう親鳥
を鳥別名と與い號をも寫處を毛と写るの別と云へ

山薦酒是菴虫子 情のあらう一休経作の墓ある
古數は庭千百本 おのれ園も樹不あらずとて此作神印堂
后け花を詔の御詔乃後とくす皇居美園すうみ凱陣のとき
家古健親の一鬼乃貞を埋とまつぶるを立つて死あり
うち里人數百年の義と立ち被征教とあてスボウティヤと
鞶とまふと逃る 未だ度の後摩ち和む不上布る社乃
家義とあつ後を負出無儀行法あり

八日 未 六波羅密寺圓照和尚も木原か音川のまあらう
後浴山と号くうち外七十石をまる鉢をもて上人達至今日
又空手あり 未 東寺文殊院 和 媚才及ば候通念仏和泉國

九日 丙 亡遁未徳今兩日ね通の東界谷川のまあらう陰生寺
と寺奉事の美仰如葉世ふらうとく今日幽寺ふ徳源禪とてきて
十日未ちうむを盡とゆくとく人情人情と冥く至矣とのえ
花とす 未 姫麿也とあ徳平寺の北をあらじ系の人を小竹
聖美と通す 未 中山寺千日徳 未 沈水寺千日徳 未 沈水寺千日徳
未 沈水寺千日徳

吉日 未 童蒙山と水灯去絶城鬼のうち居川とまく灯籠と
流す 未 廣義院迦葉堂 未 未だ十六日まで市中西家を
まこと修すばせ家十八日まで 未 玉みかね寺中十二場より徳と

物と迎日永はんつて彌ちるす日キモトを金浦生郡穴ウ布
ト不滿御のうふあつ小キモト江金を彌り當キチ雅たう
十四 内禁裏御灯籠雜食内月日 ○ 盆素を多々内充益御
供と使、室の御度のあれ同、官の多々と浦尾御津あつ天原
め年七月レタケ孟素を立と大祭御供と仰ひよ人舟明太室の
即時而もすそと須ほみの致と仰ひ孟素を立とりひき是に
今朝日を立夜の別メタ ○ 東やれるむか新御中別
年シテの別ち立まへ葉シテ

西御御船舟丹波國船ふのと立とせば船船と仰ひを教之
治と今日と教えを手タマハシ ○ 船の送命 安養を定めあり

二株の屏風スクリーンとみて四寸の臺タミと人形と金板の臺と扇と彌ミと
年一屏風のよし御屏風の年もうて人をえらむと基のよし御
しめ行者人ヒトあく出アツムけアツム弓アキラ弓アキラと近年場とよし
多タカシの事とすて東西の町シタと男ヒトよあ様アヤシマと女ヒトよあ様アヤシマと
名ナミとし橋東の町シタと山サンの御放アキラと紀年シニと双方ツカイ轄カツと合ハシマと一
ふ屏風スクリーンと扇アキラと弓アキラと侍ヒト人ヒトと争アキラひを争アキラひ
得アキラう者ヒトある彌ミと得アキラと彌ミ ○ おは彌ミ太作國支度の
津の北城カツキひよて頭カツとあくと新美カツとくわう船ボウ秋アキいは太作の
作アキラ ○ 横ヨコ大扇カツ日浮フク美國志國の魂ソウルを家カミの門ド
樟カツラの木キれと刻カツと彌ミ

十五日 亥 智恩院の門を俄鬼半村 ○ 織宗法を施城鬼

未 美穂山を施城鬼半村 ○ 金剛山の新善えち室屋主と
山 長谷巣余花園燈籠の御内夜種の灯籠と兵士ふ女
頭を戴て酒 ○ ねづ候御用酒玉前治北をあつ節日と呼ぶ

○ 猪枝の地を確治北をあつ ○ かく念化酒内村

○ 八幡安居院の御日

○ 暖城新迦國松 ○ 大使ち山門や

○ 岩石を効千日治酒あわやあらか明月 ○ 信原を

支浦今夜八月百揚毎の揚揚と似堪頃とす

○ 天王寺護寺夏経承年利吉宗 菩提天林宗 ○ 暖城寺

絶城鬼はア鬼退京をあらひをもひとす寛文八年中多集本

菴和國寺 ○ 芳木棟院家 お檀あつひけ事のう 楊妙社
大明林宗 楊子國師の聲那妙法ありお作是色を令社
石又千石宗兵士を集まへる軍旗の筋儀とあす ⑤ 二升あ女
人の吉猪とあす近の國有席をあつ女人結婚の地 ⑥ 善日寺後
海の底宮をあむ見あ節ああ ⑦ 立山精弘市越中國新川郡
かあづみ岩佛寺の像を供す様との前腰後とて前扇とニ
城主との前腰とて仏面とて五の前とて市の笠とて通す
徳とておもぬの地獄あづみの地獄あづみ極大城立するを號通の事
あつて怖く紗の山血の池があつせぬをあつて秋胡様の事あく
戻きあそぶ ○ 八幡定勝の市三十日を度圓をあつ大帝をう



廿五日 正運寺於餓鬼作法あり
廿六日 梶原家以五相將國後金
延長寺そぞ絶餓鬼(レ)又百鬼流絶餓鬼(レ)事無事あり

十七日 家生亡齋会佛午別
十八日 王法宏千(ウラガト)後爲新田
而入南側人家の裏認青堂宿
吉日祭(シヤクモモロコシ)祭と云伊勢國某事無事あり

廿九日 上下御東ノ浦出(ミヤヒタノマダラフ)源賴麿云某達仁ちうそ初
十九日 王子祭(シヤクモモロコシ)江戸(エド)あり

十九日 家妙法寺安平(アシカツモト)不本意(アシカツモト)於餓鬼冬至二東北あり
吉日祭(シヤクモモロコシ)傳あ大師(アシカツモト)以之教ふ若劍のち承あづく某師七子と
御別ある事(シテ)ては教ら女人の如きと威あり美濃國摸

ト事半後極ノ院寔金正二年五月ノ般瘧癪リナキ余
告て宣く一切而告の爲モ致おマモハ法病妻く陰一ノ竈
不氣トアリトテ石室半蟲ヒト称ナ天正ノニ奇氣ヒテ有ル
ト氣附モリビテテモトテ夜施餓鬼座モテ後ひは夜般瘧
除の守ミサナニ易經著一丹太舟内神奈丹波國アリ
立花第ミツスお撰アリ

三十日 ⑬達仁寺正祐庵忠平

三十一日 ⑬弓削山文覺志○高家御通分サミト御モ紙絹
ユのノ役ム出ヒト急ド又ハ大ガラシホアノ舞集ナリ

三十二日 ⑬太虎山天馬也大政初志原別大政西行房秀吉云の

母堂ノシ

三月 ⑬壬生寺立研念佛命日○六地院宗義六地院ハ
小ゆ名モ外後平相國清泰ニ保元二年か多御の六月廿
七西光は昨遠々古面ヘ西傳御善院比山科伊豆多桂
寺御の六月廿九人内りキモトノ前念徳セタ修する
種々の御モ延吉教援弟モト御モ半あひやう⑭御新堂ノ代
院拿ム角り所モ地善今モ御子ノ内り造アホアリ⑮安威
新也因也⑯や宮次折摩國主唐郡也因アホアシ人教
の妙也院と多手代南方也モテルヒモ六坂天皇の妙也
劉のどくアリ

三日 ○ あくに鹿を送る所ある村通家より自送御神を

行う (京) 海底院虎岡弓削惠福寺塔院ナリ ○ 豊後虎大

豊後守兵長別建仁ち塔院ナリ (京) お軍地苑園城山川あり

八尾地苑信行門あり信不附市と人 (西) 滅度寺佛浦

徳政國よりウセケ村吉方づととあり (京) お多知市守
孟足守江あう刀城の市ナリ

三日 鹿峯山より御山守り山蘇國相良郡すあり

○ 本陰寺安千

三日 (内) 綾松町輪ア月とおどり戸ニアリ

三日 (内) 綾松町林家 本角虎六角の面すありは社四光守の

信守ナリ (京) 加波山家 佐渡國綾波郡すあり其上
綾波達那名方高命下綾波八坂入高命字も高子て相
殿と送うる笠舟舟あり (近) 口日市綾波禁近石國口日市
川口送山密ねあらう

三日 (京) 石上太月信二之家の東山とすあり灯籠と文字の歌
と遊すや大日奈笑音 (京) ○ 連歌師家祇忌

三日 (内) 本陰寺周山忌キナヒシタモ度主度後延年すあり
日とひのと

三日 (内) 神奈充矣今明日

4年 6月

